

人権だより

人権教育推進委員会

〇2年生、修学旅行おかげりなさい！

10月25日（水）～27日（金）2年生が修学旅行（北海道）から帰ってきました。この旅行でアイヌ民族についても学ぶ機会となりました。国籍や民族など異なる人々が互いの文化を認め合い、尊重し、共に生きていく「多文化共生社会」についての学びを、中間高校全体に吹き込んでくれることを期待します。



2年5組担任 喜文字直子先生より



皆さん、「ゴールデンカムイ」という作品を知っていますか。アイヌの人たちは、人間の力が及ばないものをカムイと呼んできました。自然の中で生きる熊もアイヌ語で「キムンカムイ」といわれています。主人公のアシリパという少女は、このカムイを敬い、自らもその自然の一つとして真摯に向き合い生きるアイヌを象徴する人物として描かれています。（本校図書館にあります。）

修学旅行では1日目に北海道博物館、2日目にウポポイを訪れました。ウポポイは、北海道の先住民であるアイヌの尊厳を尊重し、差別のない多様で豊かな文化をもつ社会を築くための象徴空間として2020年に開業した施設です。2年生一人一人が、この2つの施設を通して、北海道の生態系や歴史を学び、北海道の大自然の空気を吸い、施設内のコタン（村）を歩き、チセ（家）を見ることでアイヌ文化を体感できたと思います。



【アイヌの人々の人権に関する啓発動画】

アイヌ民族にルーツを持つものの、そのルーツを意識せずに生きてきた青年が、同世代のアイヌの人々などを訪ね、アイヌ民族の歴史や文化を学び、アイヌの人々に対する差別について考えることで、違いを認め、お互いを尊重し合い、共に生きる社会を実現することの大切さに気づく過程を追った動画です。

〇人権文庫

各教室に置かれている人権文庫に、新しい本が加わりました。読書の秋におすすめです。

【3年生の教室】



「統一応募用紙が導く人権文化の創造」

著：小西清則 発行：福岡県高等学校人権・同和教育研究協議会

「統一応募用紙」は、就職差別の解消と、適性・能力にもとづく公正・公平な採用選考の確立を願う、多くの人々の取り組みによって制定された。このブックレットは、「統一応募用紙」の取り組みが人権文化の創造につながっていったことを、具体的な事例を通して、わかりやすく明快に示している。

【1・2年生の教室】



「寝た子はネットでは起こされる！？」

著：川口泰司 発行：福岡県人権研究所

2016年「部落差別解消推進法」が成立・施行した。インターネットやSNSを悪用した差別の悪化・深刻化が立法事実となった。ネット上で拡散するデマや偏見。ネット版「部落地名総鑑」や部落出身者リスト、部落を撮影した動画や画像がアップされている。部落／出身者を「暴き」「晒す」差別扇動が続いている。もう、「寝た子を起こすな」論は通用しない。全国水平社創立から百年を迎えた今、部落差別の現実、差別禁止法の必要性、ネット対策、人権教育のあり方について考える一冊。